略歴

一般社団法人OSAジャパン　会長
坂田 泉 / SAKATA Izumi

1955年東京生まれ
京都大学大学院工学研究科修士課程修了。
前川國男建築設計事務所在職中の1994 年から1 年間、JICA（国際協力機構）派遣専門家として、ケニアのジョモ・ケニヤッタ農工大学にて建築教育に従事。
2011年1月、「日本のタネをケニアでカタチに」をモットーに、一般社団法人OSAジャパンを設立、会長に就任。「虹プロジェクト」の名の下、ケニアと日本の間に「虹」を架けるような仕事を目指している。
公益社団法人日本建築家協会国際委員長、国際建築家連合（UIA）'Social Habitat Work Programme' 委員、
一般社団法人アフリカ協会特別研究員を兼任。

主な建築作品：
・横浜市中央図書館（横浜市・1993年・意匠主任）
・射水市中央図書館（射水市・2000年・総括）

主な著作：
・『ムチョラジ！― アフリカ発 / 描きながら考えた僕のアフリカ12ヵ月』（求龍堂・2001年）
・『前川國男・弟子たちは語る』（共著・建築資料研究社・2006年）

ケニアにおける住環境・保健衛生・再生可能エネルギー関連実績

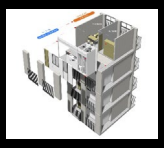
2013-2014 / 再生バッテリープロジェクト
【2012年度 JICA BOPビジネス 協力準備調査プロポーザル 採択業務】
パートナー企業：環境ライフテクノロジー株式会社
バッテリー再生技術により、使用済みバッテリーを再生し、非電化地域へ電気を届ける「容器」として活用するビジネスの調査。再生バッテリー用の照明、携帯電話用充電器も現地で開発、製造し、再生バッテリーと組み合わせ、廉価なエネルギーユニットとして普及を目指す。

2014-2015 / 循環型無水トイレシステムプロジェクト
【2013年度 JICA 民間技術普及促進事業プロポーザル 採択業務】
パートナー企業：株式会社LIXIL
ケニアの非都市部を対象にした循環型無水トイレシステム（水を使わずに排泄物を処理し、肥料化する一連のシステム）。ユーザーは生成された肥料販売や、肥料を用いて育てた農作物の販売により現金収入を得られ、従来型の下水処理施設建設が不要となることで、莫大な建設・維持コストを削減。

2015-2016 / 超節水型トイレシステムプロジェクト
【2014年度 JICA 民間技術普及促進事業プロポーザル 採択業務】
パートナー企業：株式会社LIXIL
ケニアの都市部に向け、1 リットル未満の水で機能する「超節水型トイレシステム」を提案。急激な人口増加により水不足に悩む都市部の水資源の有効活用、汚水処理コストの低減、公衆衛生、水環境の改善を目指す。

2015-現在 / 都市型発電農園プロジェクト
【ジョモ・ケニヤッタ農工大学・株式会社Looop・サステナジー株式会社・ソニーコンピュータサイエンス研究所との共同プロジェクト】
ソーラーパネルを農地の上空に設置し、 発電と農業を両立させるシステム。電気は農地の灌漑設備や農業用機器、周辺の非電化地域への給電に利用する。ジョモ・ケニヤッタ農工大学との共同実証実験では、パネルが直射日光を緩和することによる農作物、農地への効果を検証している。

2020-2021 / 太陽電池モジュール搭載型移動式PCR検査システムプロジェクト
【2020年度 国際連合工業開発機関（UNIDO）プロポーザル採択案件】
パートナー企業：TSP太陽株式会社
現地カウンターパート：マチャコス県保健省・医療施設
太陽電池モジュール搭載により非電化地域での稼働が可能で、移動が容易なトレーラー型の「移動式検査システム」を設計、製造し、現地のカウンターパートとの連携により、新型コロナ感染予防に向けた実証と技術移転を実施する。2021年４月にケニアにて引渡し完了。



2019-現在 / ケニア高品質住宅普及プロジェクト
【国交省 住宅建築技術国際展開支援事業プロポーザル採択案件】
パートナー企業：株式会社フジタ（2019-2022）、弊社単独事業（2023-）
現地カウンターパート：ケニア国家建設局 / ジョモ・ケニヤッタ農工大学
2019年度から連続採択されている国交省補助金事業。「施工性」「耐久性」「安全性」に優れる「厚肉床壁構造」、現地の廃棄土壌（黒綿土）の再資源化による「建材活用」、ジョモ・ケニヤッタ農工大学との「産学連携」という三本の柱を軸に、付加価値の高い住宅を実現する「設計」「開発」「工法」「監理」におけるサービスを事業化することを目指す。

2026年4月現在